

平成 17 年(2005)

原著論文

1) フローラン持続静注療法中の抗凝固療法について

小川愛子, 松原広己, 佐久間聖仁, 京谷晋吾, 中西宣文, 大江透

Progress in Medicine 2005; 25(1):272-275.

総説

1) 【心筋症 変貌する概念と進歩する治療法】 心筋症はここまで治せる 心筋症の不整脈治療

西井伸洋, 大江透

内科 2005;95(4):692-697.

2) 循環器病の診断と治療に関するガイドライン(2002-2003 年度合同研究班報告) ダイジェスト版 不整脈薬物治療に関するガイドライン

児玉逸雄, 相澤義房, 井上博, 大江透, 小川聡, 奥村謙, 笠貫宏, 加藤貴雄, 神谷香一郎, 犀川哲典, 有田眞, 杉本恒明, 外山淳治, 中谷晴昭, 長嶋正實, 橋本敬太郎, 平岡昌和, 三田村秀雄, 小原俊彦, 杉薫, 高橋尚彦, 早川弘一, 藤原久義, 日本循環器学会

Journal of Cardiology 2005;45(2):325-347.

平成 16 年(2004)

原著論文

1) β 遮断薬による心不全・不整脈治療の基礎と臨床-カルベジロールを中心として- 3. β 遮断薬と酸化ストレス

中村一文, 垣下幹夫, 草野研吾, 三浦綾, 久松研一, 永瀬聡, 森田宏, 齋藤博則, 江森哲郎, 浅沼幹人*, 小川紀雄*, 宮崎正博*, 中村陽一*, 松原広己*, 伏見和郎*, 豊國伸哉*, 大江透

Jpn J Electrocardiology 2004; 24: 15-21.

2) PGI₂ 持続静注療法中の抗凝固療法について

小川愛子, 松原広己*, 藤尾栄起, 宮地克維, 渡邊敦之, 永瀬聡, 中村一文, 森田宏, 齋藤博則, 江森哲郎, 伊達洋至*, 清水信義*, 大江透

Progress in Medicine 2004; 24(1): 310-3.

3) PPH 患者の肺移植実施の目安と登録時期について

伊達洋至*、永廣格*、青江基*、佐野由文*、岡崎恵*、清水信義*、宮地克維、藤尾栄起、小川愛子、大江透、松原広己*

Progress in Medicine 2004; 24(1): 356-60.

4) 心不全における酸化ストレスの関与:基礎的ならびに臨床的検討—岡山大学医学賞(結城賞)を受賞して—

中村一文、草野研吾、垣下幹夫、三浦綾、久松研一、西井伸洋、伴場主一、渡邊敦之、藤尾栄起、宮地克維、永瀬聡、森田宏、齋藤博則、江森哲郎、浅沼幹人*、宮崎正博*、中村陽一*、松原広己*、伏見和郎*、豊國伸哉*、大江透

岡山医学会雑誌 2004;116:9-16.

5) PGI2 持続静注療法を施行した肺高血圧症35例の検討

小川愛子、松原広己、藤尾栄起、宮地克維、永瀬聡、中村一文、森田宏、齋藤博則、江森哲郎、伊達洋至、清水信義、大江透

Therapeutic Research 2004; 25(10): 1965-6.

6) PPH 患者の肺移植

伊達洋至、青江基、佐野由文、岡崎恵、岡部和倫、清水信義、宮地克維、藤尾栄起、小川愛子、大江透、松原広己

Therapeutic Research 2004; 25(10): 2002-4.

7) 心臓電気現象の Bidomain シミュレータにおける多元連立一次方程式の各種解法の比較・検討

鈴木亨*、毛利聡*、清水壽一郎*、佐藤俊輔*、大江透、梶谷文彦*

電子情報通信学会技術研究報告(ME とバイオサイバネティクス)2004;104: 21-24.

症例報告

1) フローランによる薬剤性間質性肺炎を来した原発性肺高血圧症の1例

木村英夫、松原広己*、宮地晃平、河野康之、伴場主一、藤尾栄起、宮地克維、中村一文、森田宏、齋藤博則、江森哲郎、五藤恵次*、伊達洋至*、清水信義*、大江透

Progress in Medicine 2004; 24(1): 294-8.

2) 著明な T wave alternans 現象を示した LQT1 の一家系.

森田宏、中村一文、大田恵子、森田志保、三浦大志、齋藤博則、草野研吾、江森哲郎、大江

透、幡芳樹*、水尾浩三*

心臓. 2004;36(Suppl. 3):136-141.

3) 高齢にて発症した QT 延長症候群の1例—同一家系内で異なる発症形式を示した LQT1の1家系—

三浦大志、中村一文、久松研一、森田宏、森田志保、永瀬聡、斎藤博則、草野研吾、江森哲郎、大江透、大内田守*、清水憲二*、西内崇将*、幡芳樹*、水尾浩三*、大杉保*

Therapeutic Research 2004; 25(11): 2137-41.

総説

1) 特集 不整脈死を防ぐ 識る 6-a 不整脈死の基質を知る 心不全

中村一文

Heart View 2004; 8(1): 45-49.

2) 特集 不整脈に見る病態と治療—徐脈性不整脈 房室ブロック

池田哲也 大江透

医学と薬学 2004; 51(1): 71-78.

3) 不整脈の電気生理学的検査

西井伸洋、大江透

臨床と研究 2004; 81(1): 81-87.

4) PPH に対する肺移植

伊達洋至*、清水信義*、藤尾栄起、宮地克維

Heart View 2004; 8(8):792-95.

5) 【心臓病の外来診療】 検査法 ホルター心電図

大江透

日本医師会雑誌 2004; 132(8):S65-S68.

6) 【不整脈診療 最新の知見と最適な選択】 日常の不整脈診療における疑問 Repetitive monomorphic VT メカニズムとリスク

西井伸洋, 大江透

内科 2004; 94(4): 683-689.

7) 【内科外来診療実践ガイド 個別診療を重視したこれからの診療のすべて】 疾患別診療ガイド 上室性不整脈

吉川昌樹, 大江透

Medical Practice 2004; 21:Suppl. 76-94.

8) 【遺伝性不整脈と心臓突然死】 Brugada 症候群の臨床

森田宏, 大江透

循環器科 2004; 55(4): 339-345.

9) 心電図異常と突然死

大江透

共済エグザミナー通信 2004; (14) 21-30.

10) 薬剤による心電図変化-ヒトと動物 薬剤誘発性 QT 延長症候群の素因及び増悪因子

大江透

心電図 2004; 24; Suppl.1 S-1-55-S-1-63.

11) 心房細動

大江透

Therapeutic Research 2004; 25(2): 367-69.

12) ペースメーカー診療の update 機種を選択

藤尾栄起, 大江透

Mebio 2004; 21(1): 107-111.

13) 【フローチャートでみる生活習慣病診療指針】 頻脈性不整脈

河野康之, 大江透

成人病と生活習慣病 2004; 34(2): 197-201.

平成 15 年(2003)

原著論文

1) Epoprostenol 治療下の原発性肺高血圧症に対する生体部分肺移植至適時期の検討

藤尾栄起 松原広己

Progress in Medicine 2003; 23(1); 344-347.

2) 個々の PPH 患者に対応した静注 PGI₂ の増量方法

松原広己

Progress in Medicine 2003; 23(1): 378-382.

3) PGI₂ 持続静注療法を施行した肺高血圧症 27 症例の検討

小川愛子、藤尾栄起、宮地克維、永瀬聡、大田恵子、中村一文、森田宏、斎藤博則、江森哲郎、大江透、松原広己、伊達洋至*、清水信義*

Therapeutic Research 2003; 24(9): 1837-1839.

4) Brugada 症候群の不整脈の予知

森田 宏、永瀬 聡、原岡佳代、藤尾栄起、久松研一、森田志保、垣下幹夫、中村一文、草野研吾、江森哲郎、松原広己、大江 透

Jpn J Electrocardiology 23(2); 159-167, 2003.

5) Local Drug Delivery としての Tissue Factor Pathway Inhibitor の可能性

中村陽一、中村一文、大田恵子、草野研吾、松原広己、羽室 強*、植田初江*、由谷親夫*、加藤久雄*、大江 透

Jpn J Interv Cardiol 2003; 18(2);135-139.

6) Brugada 症候群の診断とリスク評価

森田 宏、永瀬 聡、西井伸洋、伴場主一、渡辺敦之、谷 義則、中村一文、森田(竹中)志保、草野(福島)研吾、江森哲郎、松原広己、大江 透

Jpn J Electrocardiology 2003; 23(suppl.4);S-4-23-28.

症例報告

1) 心線維腫の 1 例

西井伸洋、大江 透

The Circulation Frontier 2003; 7(1); 61-65, 2003.

2) 右室自由壁脂肪浸潤を認め、不整脈源性右室異形成との鑑別を要したカテコラミン誘発性多形性心室頻拍の 1 例

森田 宏、原岡佳代、大田恵子、中村陽一、森田志保、中村一文、江森哲郎、松原広己、中谷陽子*、林 一彦*、赤木忠厚*、大江 透

心臓 2003; 35(3): 45-49.

3) Pulmonary Capillary Hemangiomatosis の 2 症例

西井伸洋、松原広己、小川愛子、大田恵子、藤尾栄起、宮地克維、中村一文、森田宏、江森哲郎、大江透、青江基*、伊達洋至*

Therapeutic Research 2003; 24(9): 1825-1826.

総説

1) リエントリ頻拍における Mines の診断基準

大江 透

心臓 2003; 35(2); 81-82.

2) 致死性心室頻脈の治療(2) 心室細動の治療

谷 義則、大江 透

Cardiovascular Med-Surg 2003; 5(2); 52-58.

3) LQT/Brugada 症候群での遺伝子解析の意義

中村一文、三浦大志、森田 宏、大江 透

Cardiac Practice 2003;14(4); 27-33.

4) 心エコー 組織ストレイン画像を撮るコツ

丸尾 健、中谷 敏*

心エコー 2003; 4(12): 1058-1067.

平成 14 年(2002)

原著論文

1) 原発性肺高血圧症における右室心筋内微小血管の組織学的検討

大田恵子、中村陽一、草野研吾、永瀬 聡、宮地克維、中村一文、森田 宏、江森哲郎、松原広己、大江 透

Therapeutic Research 23; 34-37: 2002.

2) Pulmonary Veno-Occlusive Disease (PVOD) により肺高血圧を呈した2症例

小川愛子、藤尾栄起、大郷剛、中村一文、森田宏、江森哲郎、松原広己、大江透

Therapeutic Research 23(11); 2139-2141: 2002.

3) 原発性肺高血圧症に対する生体肺移植の経験

伊達洋至*、青江基*、佐野由文*、永廣格*、清水信義*、藤尾栄起、松原広己、大江透

総説

- 1) 致死的不整脈を診る チャンネル異常による致死的不整脈とは(QT 延長症候群、Brugada 症候群)
森田 宏、小川愛子、大江 透
Heart View 6(1); 42-50, 2002.
- 2) マッピングシステムの開発状況(CARTO, Localisa など)
森田 宏、河野康之、大江 透
日本臨床 60(7); 1334-1340, 2002.
- 3) 突然死の対策 Brugada 症候群の診断と治療
久松研一、森田 宏、大江 透
Medicina 39(7); 1196-1197, 2002.
- 4) 特集 成人病・生活習慣病診療の常識・非常識 I 発作性頻拍の経静脈薬治療はどうする？
小林 誠、大江 透
成人病と生活習慣病 32(7); 875-878, 2002.
- 5) 心不全を合併した致死性不整脈の治療
中村一文、永瀬 聡、大江 透
循環器科 52(4); 309-315, 2002.
- 6) 内科医が使う薬の副作用・相互作用 循環器系 Ia 群抗不整脈薬(アミサリン、リスモダン、シベノール)
大田恵子、大江 透
medicina 39, 68-69, 2002.
- 7) 内科医が使う薬の副作用・相互作用 循環器系 Ib 群抗不整脈薬(キシロカイン、メキシチール、アスペノン)
大田恵子、大江 透:
medicina 39, 70-71, 2002.
- 8) 内科医が使う薬の副作用・相互作用 循環器系 Ic 群抗不整脈薬(タンボコール、サンリズム、プロノン)

大田恵子、大江 透
medicina 39, 72-73, 2002.

9) 不整脈の先進治療

永瀬 聡
循環器科 51, 230-239, 2002.

10) 不整脈 上室性頻脈

藤尾栄起、大江 透
救急医学 26, 1435-1444, 2002.

11) 抗不整脈のメカニズムからみた実地診療

谷 義則、大江 透
Medical Practice 19, 2055-2063, 2002.

平成 13 年(2001)

原著論文

1) 12 誘導心電図による流出路起源特発性心室頻拍の至適アブレーション部位の推定

—pacemapping を用いた検討—

草野研吾、森田 宏、藤本良久、永瀬 聡、藤尾栄起、小林 誠、池田哲也、橋本克史、
垣下幹夫、山本美香、宮地克維、久松研一、湯本晃久、江森哲郎、松原広己、大江 透

2) 生体ヒト心内膜における心房細動誘導時の興奮伝播様式—time shading 法の概説と応用—

難波経豊、藤本千草*、天川雅夫*、芦原貴司*、草野研吾、大江 透、池田隆徳*、中沢一雄*
不整脈 17(3); 356-362, 2001.

3) バスケットカテーテルを用いた心房細動における生体ヒト心内膜の興奮伝播解析法: Time shading 法の開発と適応

難波経豊、芦原貴司*、藤本千草*、草野研吾、池田隆徳*、中沢一雄*、大江 透
JPN. J. Electrocardiology 21(2); 196-205, 2001.

4) Lone AF における心房心筋炎の関与

草野研吾、中村陽一、中村一文、垣下幹夫、永瀬 聡、斉藤博則、松原広己、山成 洋、大
江 透、磯村寛樹*、山田雅夫*

Therapeutic Research 22(3); 443-446, 2001.

症例報告

1) 心臓脂肪腫に心室頻拍を合併した1例

橋本克史、草野研吾、三谷禎二、大江 透

The Circulation Frontier 5(1); 64-66, 2001.

2) 至適通電部位が valsalva 洞であった特発性心室頻拍の3症例

草野研吾、永瀬 聡、森田 宏、藤本良久、垣下幹夫、江森哲郎、松原広己、大江 透

Jpn J Electrocardiology 21(6); 827-833, 2001.

総説(和文)

1) 新しい心臓収縮弛緩特性の評価法

荒木淳一*、松原広己

循環制御 22(Supplement); 28, 2001.

2) 肺移植の現況と将来への展望

伊達洋至*、清水信義*、藤尾栄起、草野研吾、松原広己、大江 透

日本臨床 59(6); 1145-1150, 2001.

3) 検査所見から心不全を診断し、治療・管理に生かすー診断のコツとポイントー 心不全と不整脈ー危険な不整脈の見分けかたー

竹中志保、大江 透

Medical Practice 18(7); 1135-1139, 2001.

4) 心電図 スクリーニングー12誘導心電図ー

竹中志保、大江 透

総合臨床 50(6); 1862-1867, 2001.

5) 正常範囲と通常変動範囲

森田 宏、大江 透

総合臨床 50(4); 720-725, 2001.

6) 心室頻拍のカテーテルアブレーション

大江 透
心臓 33(SUPPL4); 17-26, 2001.

7) 徐脈性不整脈の薬物治療とペースメーカー治療

山本美香、大江 透
心臓 33(9); 687-691, 2001.

8) ペーシングモードにおける大規模試験は今？

橋本克史、大江 透
Heart View 5(9); 72-77, 2001.

9) 検査法 C. 電気生理検査

大江 透
Heart View 5(12); 190-191, 2001.

10) 突然死蘇生例における電気生理学的検査の意義

永瀬 聡、草野研吾、大江 透
Prog. Med. 21; 1461-1464, 2001.

11) コンピュータシミュレーションの臨床への応用

難波経豊、芦原貴司*、藤本千草*、天川雅夫*、草野研吾、川瀬綾香*、池田隆徳*、中沢一雄*、大江 透
心臓 33(5); 468-475, 2001.

12) 心室性不整脈における治療の現状と限界

大江 透
Prog. Med. 21; 837-848, 2001.

13) QT 延長症候群における異常T波および期外収縮の成因

江森哲郎、大江 透
心臓 33(4); 330-339, 2001.

著書

1) 先端医療シリーズ 12・心臓病 心臓の最新医療

第 11 章 医療材料、治療機器の進歩 5. 植込み型除細動器

江森哲郎、大江 透

監修 川島康生、細田瑳一、篠山重威

先端医療技術研究所 385-390, 2001.

2) 循環器疾患最新の治療 2002-2003

Ⅸ 不整脈 心房細動

江森哲郎、大江 透

編集 篠山重威、矢崎義雄

南江堂 314-318, 2001.